

ピアホームだより

2011. 2. 10

改正自立支援法の概要

—相談支援従事者初任者研修から—

1月11・12日、東京都福祉保健局研修所にて相談支援従事者初任者研修がありました。障害者のケアマネジメントに関する講義・ロールプレイと改正自立支援法の説明等がなされました。法改正についての把握が必要ですので、当所も関係する改正部分についてお知らせします。

- 1 利用者負担の見直し→応能負担原則に
- 2 障害者範囲の見直し→発達障害が対象となることを明確化
- 3 相談支援の充実→基幹相談支援センターを設置、自立支援協議会の法定位置づけ、支援決定プロセスの見直し
- 4 地域における自立した生活のための支援の充実→グループホーム・ケアホーム利

用時の助成、精神科救急医療体制の整備等です。

現在、障がい者制度改革推進本部等で検討が進められていますが、この改正案は、障害保健福祉施策を見直すまでの間の障がい者及び障がい児の地域生活の支援のための関係法律の整備と明記されています。

精神病院はいらない!?

第2回「精神医療改革を阻んできたもの」

1月14日、稲城市地域振興プラザにて、同講演と討論会が開催され、参加してきました。友人の中村さん(町田市:ラ・ドロン)、「わくわく」の東谷さん、「クレリィエール」加藤さん、そしてイタリアの精神医療を紹介し続ける大熊先生らが中心となって、連続講座実行委員会を組織し、日本の精神医療を変えていこうとの壮大な志を持った集まりです。今回は、小澤温先生(医療社会学者。現東洋大学教授)を迎え、大熊先生と2題の講演を頂きました。小澤先生から日本の精神医療の問題は、社会的入院のみならず、家族介護への依存が大きい点も指摘されましたが、

今回のテーマー脱病院(←病床削減と区別)という問題については、以下のように課題が絞られてきたように思います。

- 1 低成長下、財政的な制約が多い中で病院から地域への移行をどう実現していくか?マンパワーは民間病院職員をシフトできるか?ハードは、既存の民間病院を利用するのか?
- 2 地域移行に係る費用として障害者施策に多額の税を投入する必要があるが、国民の理解をどう得るか?小澤先生から、一般の方との共通言語を持つ必要性があり、学校教育から取り組む。大熊先生からバザーリアのような強力なリーダーシップが提起されました。

2月の行事

- <2月2日>相談支援従事者研修
- <2月8日>板橋GH会議
- <2月9日>自立支援協議会第回研修会

清掃の仕事に挑戦

西川さんの一言

高島平団地階段清掃を行うことにしました。先輩市六さんのサポートがあり、心強いです。